

科目名	旅と文学	科目分類	■第1グループ □第2グループ	
			観光 学科	□必修 ■選択
			学科	
			□必修 □選択	
英文表記	Travels and Literature	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	はしもと しほ	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	橋元志保	修得単位	2 単位	
授業のテーマ	コンテンツ・ツーリズムについて学び、文学をはじめとする様々な表現文化が、観光による地域振興においてどのように活用されているのかを理解する。			
授業概要	自分の好きな小説や映画、ドラマの舞台となった地方を、実際に訪れてみたいという欲求は誰でも持っているものです。また、秋田をはじめとする日本各地に、文学者や芸術家たちが残した様々な足跡は、その地域の文化となって根付き、多くの観光客たちを惹きつけています。本講義では、主に文学が映像文化の発展と共に、その地域の観光にどのような影響を与えたのかを学びます。			
到達目標	文学をはじめとする表現文化、及び観光による地域振興に関する知識と教養を身につけることができる。			
授業時間外の学習	1. 授業で取り上げる評論や小説を、指定された頁まで必ず読んできてください。また、難解な漢字や語句の意味は必ず調べておきましょう。 2. 課題プリントを毎回配布しますので、授業を復習しながら記述し、提出してください。			
履修条件	「文章の読み方」「日本の文学」「福祉と文学」のいずれかを受講し、単位を修得していることが望ましい。			
授業計画				
第1回	コンテンツ・ツーリズムとは何かー文学・映画・大河ドラマの舞台と観光ー			
第2回	川端康成『伊豆の踊子』の魅力ー伊豆の美しい自然を満喫するⅠー			
第3回	川端康成『伊豆の踊子』の魅力ー伊豆の美しい自然を満喫するⅡー			
第4回	文学者が愛した伊豆の魅力ー夏目漱石の修善寺ー			
第5回	文学者が愛した伊豆の魅力ー梶井基次郎の生涯と文学ー			
第6回	藤沢周平と山形ー海坂藩の世界『たそがれ清兵衛』を読むー			
第7回	藤沢周平と山形ー海坂藩の世界『祝い人助八』を読むー			
第8回	藤沢周平と庄内映画村ー文学と映像のコラボレーションー			
第9回	鶴岡市の文化発信ー鶴岡市立藤沢周平記念館・藩校致道館・鶴岡アートフォーラム他周辺施設ー			
第10回	漂泊の詩人、石川啄木の生涯と文学ー『一握の砂』『悲しき玩具』よりー			
第11回	漂泊の詩人、石川啄木の旅ー岩手県渋民村から、盛岡・函館・札幌・小樽・釧路・東京へー			
第12回	夏目漱石『坊ちゃん』の松山ー観光資源としての文学ー			
第13回	夏目漱石『坊ちゃん』の松山ー道後温泉・坊ちゃん電車・坊ちゃん劇場ー			
第14回	夏目漱石と正岡子規の松山ー松山城・愚陀佛庵・子規堂・子規記念博物館ー			
第15回	司馬遼太郎『坂の上の雲』と松山ー坂の上の雲ミュージアムー			
第16回	定期試験			
テキスト	資料を配布します。川端康成『伊豆の踊子』（新潮社2003年）夏目漱石『坊ちゃん』（岩波書店1989年）他			
参考文献・資料	コンテンツ・ツーリズム学会『コンテンツ・ツーリズム入門』（古今書院 2014年） 増渕敏之『物語を旅するひとびと コンテンツ・ツーリズムとは何か』（彩流社 2010年）他			
成績評価の方法	【主体的な学びの姿勢（15%）、課題の提出（25%）、試験（60%）】の総合評価とします。 ① 出席回数が規定に満たない場合は、試験を受けることが出来ません。 ② 講義中に無許可で退出した場合は、欠席とします。 ③ 出席確認時に不在だった場合、原則としてその回は欠席とします。			

成績評価基準	<p>【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p> <p>【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	火曜日 14:40~16:10 木曜日 14:40~16:10 ※これ以外の時間帯は事前に予約してください。
学生へのメッセージ	文化観光について学ぶことで、地域の再生・活性化に関する見識を持つことが出来ます。旅行会社をはじめとする観光企業や公務員(地方上級職)への就職に役立ちますので、ぜひ受講してください。